

## 令和2年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

### 選択必修領域

講習の区分	受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類 又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域
講習の名称	【選択必修】学校・家庭並びに地域の連携及び協働
受講者定員	45人
受講対象者	全教員
開設日	令和2年10月25日(日)
講習の形態	主として講義
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学(徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)
担当講師	阪根 健二, 高橋 眞琴
受講料	6,000円

講習の内容	<p>(前半)学校、地域、家庭との連携において、どのような課題があり、どのような取り組みが必要なのかについて、事例を紹介しながら論及する。この際、子どもの貧困問題への対策の一環として行われている子ども食堂の実践事例や、心のバリアフリーとも密接な関連がある障がいのある子どもたちの地域における居場所づくりの事例、障がいのある子どもたち本人が語るバリアフリーにも言及する。加えて、これまでの教育実践に基づく受講者間の意見交換を通して、学校、地域、家庭との連携を踏まえた教育的課題の解決に向けた方策について、検討を加える。</p> <p>(後半)学校教育学の観点から、学校、家庭、地域が援助チームを形成するために必要なコミュニケーションについて議論する。この際、心のバリアフリーとコミュニケーションの在り方の関連性についても理解を深める。また、子どもの貧困問題への対策の一環として行われている学習支援等の実践を紹介しながら、学校としてどのように連携すべきかを議論する。</p>
講習のねらい	学校、地域、家庭の連携に関するいくつかの学問背景からなる理論や具体的な実践事例を扱う中で、チームとしての学校の一員としての力量を高め、現代的教育課題の解決能力の向上を図る。
講習到達目標	<p>次の事項について理解し、説明することができる。</p> <p>①学校、地域、家庭との連携を要する教育的課題(子どもの貧困問題も含む)</p> <p>②学校教育と社会教育との関連(学力向上と地域連携の視点から)</p> <p>③学校、地域、家庭との連携を踏まえた教育的課題の解決に向けた方策について、具体的な事例を想定しながらのその有効性</p> <p>④連携・協働に必要なコミュニケーションの在り方と心のバリアフリーの関連</p>
講習スケジュール	<p>令和2年10月25日(日)</p> <p>8時55分～ 9時00分 オリエンテーション</p> <p>9時00分～10時30分 講義</p> <p>10時40分～12時10分 講義</p> <p>12時10分～13時00分 昼食休憩</p> <p>13時00分～14時30分 講義</p> <p>14時40分～16時10分 講義</p> <p>16時15分～16時25分 試験問題/アンケート用紙 配付・説明</p> <p>16時25分～17時05分 履修認定試験</p> <p>17時05分～17時15分 試験問題/アンケート用紙 回収</p>
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者となりますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
持参するもの	筆記用具
台風接近等に伴う休講の振替日	令和2年11月1日(日)
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。